

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	mana東うらわ教室		
○保護者評価実施期間	令和7年2月20日		～ 令和7年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年2月20日		～ 令和7年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが充実しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数か月に1度ではあるが活動内容を定める子どもたちと一緒に企画会議を実施しております。</li> <li>・おやつ作りでは、安全な調理器具の使い方や達成感を育む活動として活発に行っている。</li> <li>・苦手なところを克服したり、得意なことを伸ばしたりできるよう自分で課題を設定して取り組む“個別課題”の実施。等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSやブログなどの広報活動を積極的におこない、活動内容の周知に努めます。</li> <li>・作る楽しみ、食べる楽しみだけでなく、作る過程での子ども同士の関わりの中で、主体性を発揮できるよう支援していく。</li> <li>・今まで以上に職員間での情報共有・連携を密におこない、より子どもに寄り添った支援をおこないます。</li> </ul>
2	個別活動での活動も取り入れています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの成長に合わせて、個別活動を工夫して活動を行っています。基本は1対1で行いますが、お子さん、保護者様の要望によっては1対複数人で活動を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが常に楽しい活動内容につながる為に、工夫やアイデアが出せるように常に、職員側も学ぶ姿勢を惜しまない。また支援内容の職員間の共有をして、支援に反映していく。また、職員側も研修受講でスキル向上させていく。</li> </ul>
3	職場の雰囲気がよく話しやすい環境です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の打ち合わせや会議等で意見を出し合うことは常に意見交換はしていますが、日々の会話の中で職員の悩み、困りごとを話しています。</li> <li>・お互いの強みを活かせるよう役割分担を行いながら、余暇時間、集団活動、個別活動の中で取り入れ子どもたちが楽しめるのか話し合いも常に行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとコミュニケーション大切し、職員同士の交流を深めていきます。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会について	さまざまな特性の子どもたちにご利用いただいております。また、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討する必要があると考えております。	保護者様に向けた研修会等も出来るように検討していく。保護者様のニーズも聞き取りを行っていく。
2	日常生活スキルの幅広さ	年齢だけでなく、日常生活スキルの幅広い子どもたちに対して、個々に見合った内容の活動を提供する難しさがあります。	同じ内容の活動であっても、個々に応じた難易度の参加方法を考え、提供していく。 個々の強みや課題の把握をしていく
3	活動スペースが狭くなってしま	曜日や高学年が多いこともあり、部屋が狭く感じることもある。 部屋全体使う活動や運動の活動は、狭く感じる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内全体的に使う活動や運動系は広くするため移動させるなどを行い広く使えるようにしていく。</li> <li>・不要なものがあれば破棄や保管場所に移動させていく。</li> </ul>

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 mana東うらわ教室

公表日 2025年 3月 10日

利用児童数 2025年 3月 10日

回収数 21

		チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	4	1	部屋が狭い分外出して外で遊ぶ機会が多い。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	3	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	10	3	立地上仕方ないと思います。 意見:急な階段なので少し怖いです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	5	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	5	5		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	10	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	2	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	8	3		
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	0	職員や保護者同士でたくさん交流できてよかったです。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	4	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	4	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	4	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2	0		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	3	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	3	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		mana東うらわ教室		公表日		2025年 3月 18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	法令に基づいたスペース、定員で運営しております。活動の内容やご利用人数に応じて都度レイアウトを調整することで、できる限り最適な広さの確保に努めます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	適切な配置人数で運営しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	構造化はお子様の状態に合わせて行っています。お子様の成長に合わせて必要に応じて改善していきたいと思えます。玄関先は階段でバリアフリーになっていない為、必要に応じて声掛けしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	日々の清掃消毒のほか、整理整頓や目につきづらい場所も定期的に整え、心地よく過ごせる環境づくりを職員一人ひとりが心がけています。机上活動の際にはパーテーションで区切るなどして活動に集中できる環境を設けております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	静養室や相談室を備えており、必要に応じて活用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日のMTGでの目標設定と共有、振り返りを行っています。また、毎月のモニタリング会議でも個別の事案に対して話し合いを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年保護者アンケート調査を実施し、業務改善を図っています。今後も保護者の意向等把握し、より良い支援のため業務改善に努めていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々のミーティングの際に共有、改善点を図っている。朝礼や教室会議で意見交換を行っております 毎月会議を行っております		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	現在は第三者による外部評価を行っていませんが、manaグループ相互の情報共有によって業務改善を図っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	講義等があるときは共有しています。市主催の研修には参加しています。今後も研修で学んだことを事業所内で共有し、支援に生かしていく。職員が日々スキルアップしていける仕組みを整えていく。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ガイドラインの発達5領域や子どもの発達段階に合わせて職員間で話し合い適切に作成されているが公表はできていません。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	契約時の他、毎回ご利用毎に保護者と直接話す機会をもち、定期的にニーズ、現状の課題等をお聞きして分析を行い、計画の策定を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	放課後等デイサービス計画の作成にあたり、ケース会議の時間を設け、意見を出し合うことで多角的な視点で立案できるよう努めております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画作成後、職員間で計画の確認、具体的な支援内容の確認をおこなっております。管理システム上で常に確認できるようになっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	標準化された書式を使用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に則した支援内容の本人支援、家族支援などを踏まえ、それぞれの子どもに適切な支援の優先順位をつけて具体的な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎月のプログラムを考える際、意見を出し合うことで多角的な視点で立案できるよう努めております。個別療育は担当制でプログラムの立案を行いますが、内容の検討についてはチームで協議しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	活動プログラムは原則毎回変わるようにし、固定化しないように工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	こどもの発達や年齢に応じて個別活動と小集団活動を組み合わせたトレーニングをおこなっております。 週1日から2日ほどにはなりますが個別活動の日として設定しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	当日の利用者の確認、支援内容、目的や具体的な手立て、役割分担について、指導員全体で確認し、事務所内に掲示しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後に振り返りを行い、利用者一人一人の支援日誌に記録しています。その日勤務していなかった職員も、次回支援開始前に支援日誌を確認するようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	HUGにて休暇時間、活動等の過ごし方について、何がどこまでできたか職員がどのように関わったか記録に残しています。職員の勤務体制によっては当日中は記入することが難しいこともあるので翌日以降になってしまう場合もございます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリング実施し、適切な支援計画の見直しを行っている。 子どもの記録にも定期的に必ず目を通すようしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	報酬改定後に、より意識して支援を行うように努めております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもの意思を尊重し、自主性を育てられるような支援を積極的に行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心として、その他にも最もふさわしい職員が参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	自立支援協議会等で事業所管の連携の他、保護者を起点とした情報共有も必要に応じて実施しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	7	主に保護者を介して学校との連絡調整を行うことが多いです。行事予定等についてはHPも活用して情報の把握を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7	現在の利用者様は皆様就学してから年数が経っている方が多いため、情報共有等は行っておりません。今後新しく就学して間もない方をお迎えの際は、努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	現在は学校卒業のケースがありません。今後卒業生が出る際には、情報提供を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	子ども発達支援センター主催の公開療育や連絡会に参加し助言を受けています。 今後も連絡会などに積極的に参加し助言やアドバイスを受けて日々の支援に活かしていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	活動で外出した際に公園や児童館などで子どもたちの活動の幅を広げる機会をしています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	協議会や地域連絡会には、機会があれば積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	3	毎回のご利用毎に、お子さまの状況についてお伝えし合い、お子さまの発達の状況や課題について共通理解を深めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	都度のご利用毎に、具体的な支援方法やお子さまとの関わり方をアドバイスさせていただいています。 定型的なペアレントトレーニングプログラムは実施していないため、公的機関等のプログラムの募集がある際は情報提供していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に、書面を用いてできる限り丁寧に説明を行っています。また、運営規程及び重要事項説明書を待合室に設置し、周知を図っております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者の意向やニーズはもちろん、子どもの気持ちや意思も尊重しそれぞれの子どもにとって最適な支援計画を作成している。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	支援計画の内容を確認し同意いただき署名頂いています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	送迎時やお電話、HUG、6か月に1度のモニタリング面談等で相談があった場合は速やかに対応しています。 フィードバックの時にご家族が会話しやすい環境を意識しております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	毎年2月頃に開催し、保護者同士が交流ができる場を設けております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者からの意見は普段から聞くようにしている。なにか要望等を持った場合はできる限りの対応をさせていただいています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	HPで時折活動の報告などは行っています。 毎日の活動の様子はHUGにて写真とともに掲載しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報に関して、鍵付き書庫に保管をしています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	3	視覚支援でスケジュールを示したり、どこで何をしたらよいかわかりやすくしています。 保護者様との意思疎通におきましては対面、電話、HUG、などニーズに応えた様々な連絡体制をとっております。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	放課後等デイサービス、学校、相談支援員、子ども関係機関等の見学を積極的に受入れています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルはファイル化されており集団イベントの時に避難訓練をしております 家族へは契約書にて説明しております。 各マニュアルの周知までに至っていない認識があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を計画的に行っております。また、お子さまと一緒に防災訓練を年二回以上実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	契約や面談時に服薬や予防接種、てんかん発作等のお子さまの状況を確認しております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	すべてのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、支援時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援を行っております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	契約や面談時に安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	ヒヤリハットが起きた際には職員全体に周知し、再発防止に向けての話し合いの場を設けております。 全体的にヒヤリハット件数は少ないです。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止のための研修などを行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	利用契約時に、重要事項として説明を行っています。現在、具体的に身体拘束を必要とすること利用者はいない為、放課後等デイサービス計画への記載のケースはありません	